

平成25年度 第九小学校 危機管理マニュアル

東日本大震災を教訓に、平成23年度6月危機管理マニュアルを見直し、全面改訂をいたしました。このマニュアルは、学校で起こりうる事故、事件、災害、伝染病等を想定し、その予防と事後対策をまとめたものです。緊急時に備え、保護者及び地域の皆様と対応策を共有することにより、被害を最小限に食い止めたいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。本校では以下の4つの方法で児童を安全に下校させます。

A：保護者引き取り B：集団下校（引率付） C：一斉下校 D：指導後下校 E：その他

伝染病等

①給食が原因での食中毒

- ・集団感染症の発生・・・〈通知方法〉プリント（翌日以降の対応について）

【対応】E対応・・・給食停止

保健所の指示があった場合・・・学校閉鎖

全校臨時保護者会の開催

②インフルエンザ等流行性疾患

- ・欠席率が20%超、または今後欠席者が増加する可能性が高い場合

〈通知方法〉メール配信（全校・学年）、該当学級はプリント（翌日以降の対応について）

【対応】E対応 校医の指導で、学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖のいずれかで対応

事 件

①校内で事件発生

- ・校内への不審者侵入等・・・〈通知方法〉メール、連絡網

【対応】A対応

②近隣小中学校、または地域で事件発生

市内で強盗や発砲事件発生

市外での重大事件発生

〈通知方法〉メール、プリント（翌日の対応について）

【対応】発生場所、時間経過、危険度を考え、
B対応またはD対応を判断

※犯人が逃走中の場合、学区域内の見回り及び

翌日、児童登校時の見回り

火 災

①校内から出火（けが人が出た場合）・・・〈通知方法〉メール、連絡網

【対応】A対応

②校内から出火（けが人がいない場合）・・・〈通知方法〉メール、プリント（翌日の対応について）

【対応】B対応

③学校周辺から出火・・・〈通知方法〉メール

【対応】出火場所、時間経過、危険度を考え、B対応またはD対応を判断

地震予知

①予知情報が出された場合・・・〈通知方法〉メール、連絡網

【対応】A対応

地震災害（地震が発生した場合）

〔震度4以下 及び 震源地が遠く、物的被害もほとんどなく、その後の警戒の必要もなしと判断できる場合〕

①児童が在校中・・・〈通知方法〉メール

【対応】震源地、時間経過、危険度を考え、B対応またはD対応を判断

②児童が下校後・・・〈通知方法〉通知なし

【対応】E対応・・・必要に応じて、教職員が学区域内を見回り

〔震度5以上 及び 人的・物的被害あり、公共交通機関に継続的な支障が想定される、その後の余震の心配がある場合〕

①児童が在校中・・・〈通知方法〉メール、連絡網、プリント（翌日の対応について）

【対 応】A対応

②一部児童が下校後・・・〈通知方法〉メール、連絡網、プリント（翌日の対応について）

【対 応】手のあいた教職員が学区域を見回る

※保護の必要があれば、自宅にメモを残し、学校で引き取り、A対応

在校児童は学校待機後、A対応

③児童が下校後・・・〈通知方法〉メール（安否確認）、連絡網

【対 応】全教職員が学区域を見回る

※保護の必要があれば、自宅にメモを残し、学校で引き取り、A対応

できる範囲での学校、家庭双方での安否確認

※メールや緊急連絡網での配信ができないことも想定しておいてください。

事 故

①航空機の墜落事故など・・・被害の程度で 火災 の事後処理に準ずる

台風接近

①台風接近の前日が登校日（前日に通知を出す）

・登校時間接近の場合・・・〈通知方法〉メール、プリント（翌日の対応について）

【対 応】E対応 接近時間により、休校または遅れて登校

・下校時間接近の場合・・・〈通知方法〉メール、プリント（翌日の対応について）

【対 応】接近時間により、A対応またはB対応（早い下校）を判断

②台風接近の前日が休校日（休校日の夕方に通知）

・登校時間接近の場合・・・〈通知方法〉メール、連絡網

【対 応】E対応 接近時間により、休校または遅れて登校

・下校時間接近の場合・・・〈通知方法〉メール、連絡網

【対 応】接近時間により、A対応またはB対応（早い下校）を判断

自然災害

①雨がひどくなり、落雷など、下校に不安がある場合

〈通知方法〉メール、プリント（翌日の対応について）

【対 応】学校待機（安全確認後）B対応またはC対応を判断

②予期しない集中豪雨が急襲し、下校時に危険がある場合

〈通知方法〉メール、連絡網

【対 応】A対応

お願い

①A対応は「引き取り訓練」の要領です。（学校に保護者または引き取り人が迎えに来てください。）

②B対応は教員が引率して集団下校させますが、地区委員、安全ボランティア、緊急配信メールを受け取った方は、下校コースをたどり、学校に向かい児童の引率にご協力をお願いいたします。

③A対応・・・メール、連絡網

B・C対応・・・メール

D対応・・・状況に応じて、メール

} プリントは翌日やそれ以降の対応について配布します。

④6月の集団下校訓練、9月1日の引き取り訓練も緊急メール配信テストを行います。

⑤電話連絡網はできる限り、ご自分の前の方だけには不在時の連絡先（携帯電話番号など）を知らせておいてください。（その際、次の方の連絡先メモの携行も必要です。）

⑥緊急情報配信メールに登録がお済みでない方は、この機会に是非、ご登録ください。

《詳しくは、裏面 第九小学校 緊急情報配信メール案内をご覧ください。》

第九小学校 緊急情報配信メール案内

緊急情報配信メールは素早く情報が流せ、各連絡網を補完する意味でも、有効です。ぜひ、登録をお願いいたします。

■メール受信登録の仕方

手順1：ドメイン<ktaiwork.jp>の受信許可設定

迷惑メールフィルターの受信拒否設定を、ドメイン<ktaiwork.jp>で「受信許可設定」してください。

※右記 【別紙】「受信制限に関するご注意」参照

手順2：登録の空メール送信

以下の「全校」というメールアドレスと、お子さんの所属する学年のメールアドレス、両方に空メールを送信してください。複数の児童がいるご家庭におかれましては、それぞれの所属学年のアドレスに空メールをお送りください。表題ならびに本文は不要です。

空のメールを送ることができない場合は、本文または件名に適当な半角英数の一文字を打ち込んで送ってください。

hachioji9sho-pta@ktaiwork.jp	全校（全校に共通する連絡のための連絡網）
hachioji9sho-1-pta@ktaiwork.jp	1年生
hachioji9sho-2-pta@ktaiwork.jp	2年生
hachioji9sho-3-pta@ktaiwork.jp	3年生
hachioji9sho-4-pta@ktaiwork.jp	4年生
hachioji9sho-5-pta@ktaiwork.jp	5年生
hachioji9sho-6-pta@ktaiwork.jp	6年生

手順3：「ようこそ」メールの受信

空メールを送ったそれぞれの連絡網から、折り返し、「(XXX ML)へ ようこそ！」という件名のメールが届きます。これは、登録が完了した旨の通知です。登録解除の方法などが記載されていますので大切に保管して下さい。メールが送信できない場合、エラーメールを受信した場合は、アドレスが間違っている可能性があります。もう一度確認して再度空メールを送信して下さい。

「(XXX ML)へ ようこそ！」メールが届かない場合は、迷惑メールフィルターなどで受信を拒否されている可能性があります。確認のうえ、再度手順1からやり直してください。

既に登録済みの連絡網に、もう一度空メールを送ると、「ご確認ください」という件名のメールが届きます。これは、あなたのアドレスはすでに登録されていますという旨の通知です。異常ではありませんので、そのままにしておいてかまいません。

受信制限に関するご注意

受信登録の際、最も多い問い合わせは

空メールを送ったのに、返事が無いのはなぜか？どうすれば登録できる？

というものです。この場合、主な原因は次の二つです。

- ・ 1 空メールのあて先を打ち間違えている
- ・ 2 迷惑メール防止のための受信制限がかかっている

まず次のことについてご確認ください

1 空メールのあて先の間違い

たとえば「小学校」の「しょう」を「sho」とつづるか、「syo」とつづるかといった「日本語読みは同じだが、ローマ字は複数ある」といった場合のつづり違いが特に多く起こります。

送信済ボックス内にあるメールと配布されたプリントを見比べ、十分確認していただきますようお願いいたします。

2 迷惑メール防止受信制限

現在、販売されている携帯電話は、初期設定時に「迷惑メールフィルター」などで、各社一定の受信制限が有効になっており、パソコンからのメールを受け取ることができません。これを「<ktaiwork.jp>というドメイン(※)からのメールは受信する」というように設定を変更する必要があります。

操作方法については携帯電話の操作マニュアルをご覧になるか、お求めになった販売店にて、このプリントを提示の上、ご相談いただきますようご案内申し上げます。

※解説 メールアドレスの「@」から後ろの部分(ktaiwork.jp 等)のことを「ドメイン」といい、郵便にたとえれば「差し出し郵便局」に当たります。これに対し XXX@ktaiwork.jp などにはアドレスと呼ばれ、郵便の世界で言う「差出人」に当たります。

<XXX-pta@ktaiwork.jp>に登録が完了したことをお知らせする「(XXX ML)へようこそ！」メールは<XXX-admin@ktaiwork.jp>から、学校から配信される実際の連絡網は<XXX@ktaiwork.jp>から送られますので、個別にこれら二つのメールアドレスを許可しても構いませんが、許可対象をドメインにすれば、設定は一度で済みます。